

改良主義者たち

フェビアン派

1884年、イギリスのブルジョア・インテリゲンツィアのグループによって創立された改良主義的・日和見主義的団体。レーニンの表現にしたがえば、フェビアン協会は「日和見主義および自由主義的政治活動のもっとも完成された表現」である。階級闘争を否定し、資本主義から社会主義へ改良的な方法で平和的に徐々に移行する可能性を宣伝するもの。第一次世界戦争中は社会排外主義の立場をとった。 第25巻 P553 事項訳注

エセ社会主義者

デューリング、カール・オイゲン（1833～1921年）

ドイツの経済学者、哲学者。俗流唯物論者、小ブルジョア的「平等社会主義」の代表者、マルクス主義の敵、人種的憎悪の説教者。1865年ベルリン大学講師として哲学と経済学を講義した。彼の哲学的見解は観念論と俗流唯物論との折衷的混合であった。しかし彼の『社会主義』は1873年ごろから社会民主党内部にもしだいに勢力を得、一時は幹部のあいだにまでその支持者がでたくらいであった。これとたたかうために、エンゲルスは『反デューリング論』を書いた。